

総務文教常任委員会資料

令和7年3月5日

まちづくり政策部企画政策課

【目 次】

1. 令和6年度 加東市の公共交通施策に係る取組状況について P. 1

令和6年度 加東市の公共交通施策に係る取組状況について

1 路線バスの維持・確保及びルート等の見直し

神姫バス天神電鉄小野駅線について、バス事業者と協議を実施した結果、令和7年3月31日をもって運行を休止することとなった。

社（車庫前）での乗継が必要となるが、小野市内への代替ルートは確保されている。

2 社市街地乗合タクシーの維持・拡充（目標値：20人／日）

令和6年4月1日付けで運行の効率化、移動手段の確保及び利用者数の増加を図るために、ルート・ダイヤ等の見直しを実施した結果、前年度比で1日当たり約3人の増となった。

【乗合タクシーの利用状況】

乗合タクシー	令和2年度 7月～12月	令和2年度 1月～3月	令和2年度計	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 4月～1月
概要	7便/日 13停留所	5便/日 16停留所		5便/日 16停留所	5便/日 16停留所	5便/日 16停留所	7便/日 22停留所
利用者数	423人	228人	651人	1,138人	1,815人	2,249人	2,440人
運行日数	122日	60日	182日	243日	246日	242日	201日
1日当たりの 利用者数	3.47 人/日	3.80 人/日	3.58 人/日	4.68 人/日	7.38 人/日	9.29 人/日	12.14 人/日
総便数	854便	300便	1,154便	1,215便	1,230便	1,210便	1,407便
1便当たりの 利用者数	0.50 人/便	0.76 人/便	0.56 人/便	0.94 人/便	1.48 人/便	1.86 人/便	1.73 人/便

3 自家用有償旅客運送（自主運行バス）の維持・拡充

利用者の利便性を図るため、「ボンマルシェ社店」停留所の位置を令和7年1月に店舗近くに変更し、福田ふくふく線については、令和6年7月に地域内の停留所間をフリー降車とした。

米田ふれあい線について、令和6年12月末をもって「直島ボデー」停留所を廃止し、運行の効率化を図った。

また、安全で確実な運行とするよう、運行会議で運行上の注意事項等を確認するとともに、加東警察署による安全運転講習や、運行時に講師が同席し、運転技術等の確認を行う運転者講習を実施した。

【自家用有償旅客運送各路線の利用状況】

米田ふれあい線 (4便/日)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (4月~1月)
運行日数	146日	143日	146日	142日	119日
利用者数	896人	706人	634人	727人	357人
1日当たりの利用者数	6.14 人/日	4.94 人/日	4.34 人/日	5.12 人/日	3.00 人/日
総便数	584便	572便	584便	568便	476便
1便当たりの利用者数	1.53 人/便	1.23 人/便	1.09 人/便	1.28 人/便	0.75 人/便

きよみず線 (6便/日)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (4月~1月)
運行日数	97日	99日	99日	97日	85日
利用者数	399人	529人	680人	656人	467人
1日当たりの利用者数	4.11 人/日	5.34 人/日	6.87 人/日	6.76 人/日	5.49 人/日
総便数	582便	594便	594便	582便	510便
1便当たりの利用者数	0.69 人/便	0.89 人/便	1.14 人/便	1.13 人/便	0.92 人/便

とうじょうあいあい線 (4便/日)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (4月~1月)
運行日数	97日	99日	99日	98日	85日
利用者数	269人	299人	412人	301人	277人
1日当たりの利用者数	2.77 人/日	3.02 人/日	4.16 人/日	3.07 人/日	3.26 人/日
総便数	388便	396便	396便	392便	340便
1便当たりの利用者数	0.69 人/便	0.76 人/便	1.04 人/便	0.77 人/便	0.81 人/便

福田ふくふく線 (4便/日)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (4月~1月)
運行日数	143日	148日	147日	128日
利用者数	615人	798人	830人	754人
1日当たりの利用者数	4.30 人/日	5.39 人/日	5.65 人/日	5.89 人/日
総便数	572便	592便	588便	512便
1便当たりの利用者数	1.08 人/便	1.35 人/便	1.41 人/便	1.47 人/便

4 地域の実情に応じた新たな移動手段の確保

(1) デマンド型交通の実証実験

地域内における買い物や通院を目的とする移動手段の確保のため、高齢者や障害者等を対象に利用者支援型での実証実験を令和6年1月に開始したデマンド型交通は、令和6年7月に制度を一部変更し実証実験を延長した。

令和7年4月以降は、制度を変更した上で、福祉施策として実施していく。

(2) 滝野コミュニティバスの導入（目標値：5人／便、見直基準：3人／便）

滝野地域における買い物や通院を目的とする移動手段の充実を図るとともに、社・滝野地域間をつなぐ地域公共交通として、滝野地域から社市街地への移動手段を確保することで、市内移動における地域公共交通ネットワークの形成を図ることを目的に、令和7年1月から実証実験を開始した。

(3) 社東条東自主運行バスの廃止（目標値：1人／便、見直基準：0.5人／便）

令和5年10月に東条学園スクールバスを活用した定時定路線運行として実証実験を開始した社東条東自主運行バスについて、利用者が僅少であること、代替交通手段（神姫バス社三田線、デマンド型交通）が確保されていることから、実証実験が終了する令和7年3月末をもって廃止する。

【デマンド型交通の利用状況】

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計	平均
利用件数	261件	454件	646件	661件	651件	713件	3,386件	564件
補助額	416,060円	627,440円	860,140円	911,100円	895,220円	989,210円	4,699,170円	783,195円
1件当たりの補助額	1,594円/件	1,382円/件	1,331円/件	1,378円/件	1,375円/件	1,387円/件	1,388円/件	—

区分	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計	平均
利用件数	712件	570件	610件	676件	677件	629件	644件	4,518件	645件
補助額	716,820円	562,380円	602,510円	682,590円	712,370円	641,260円	664,910円	4,582,840円	654,691円
1件当たりの補助額	1,007円/件	987円/件	988円/件	1,010円/件	1,052円/件	1,019円/件	1,032円/件	1,014円/件	—

【滝野コミュニティバスの利用状況】

滝野コミュニティバス		1月
光明寺 ルート (7便/日)	運行日数	8日
	利用者数	78人
	1日当たりの利用者数	9.75 人/日
	1便当たりの利用者数	1.39 人/便
稲尾 ルート (6便/日)	運行日数	8日
	利用者数	74人
	1日当たりの利用者数	9.25 人/日
	1便当たりの利用者数	1.54 人/便
高岡 ルート (6便/日)	運行日数	7日
	利用者数	56人
	1日当たりの利用者数	8.00 人/日
	1便当たりの利用者数	1.33 人/便
合計 (総便数: 146便)	運行日数	23日
	利用者数	208人
	1日当たりの利用者数	9.04 人/日
	1便当たりの利用者数	1.42 人/便

【社東条東自主運行バスの利用状況】

社東条東自主運行バス (6便/日・総便数:1,128便)		利用者数	運行日数	1日当たりの 利用者数	1便当たりの 利用者数
令和5年度	10月～3月	333人	68日	4.90 人/日	0.82 人/便
令和 6 年度	4月	65人	12日	5.42 人/日	0.90 人/便
	5月	38人	12日	3.17 人/日	0.53 人/便
	6月	39人	12日	3.25 人/日	0.54 人/便
	7月	60人	11日	5.45 人/日	0.91 人/便
	8月	47人	11日	4.27 人/日	0.71 人/便
	9月	40人	12日	3.33 人/日	0.56 人/便
	10月	57人	14日	4.07 人/日	0.68 人/便
	11月	45人	13日	3.46 人/日	0.58 人/便
	12月	71人	12日	5.92 人/日	0.99 人/便
	1月	48人	11日	4.36 人/日	0.73 人/便
計		843人	188日	4.48 人/日	0.75 人/便

5 観光地への移動手段の検討

観光地のPRを目的に、神姫バス停留所の名称を「滝」から「鬨竜灘」に変更した。

また、沿線協議会各市町、北播磨県民局と連携し、JR加古川線の沿線ガイドを作成し、観光客の地域公共交通の利用促進に向けて、情報提供を実施した。

6 バスターミナルにおける交通結節点機能の強化

新たな交通結節点として、令和4年10月から供用を開始した加東バスターミナルについて、観光バスの乗入便数が増加した。

【路線バスの乗入便数】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
乗入便数	101便	109便	109便

【観光バスの利用実績】

	令和4年度 (10月～3月)	令和5年度	令和6年度 (4月～1月)
乗入便数	91便	349便	366便
利用者数	1,770人	5,842人	6,757人

7 交通結節点の利用環境の向上

東条バスストップ前停留所付近が自転車等の駐輪で煩雑となっていることから、歩行者の安全を確保するため、東条バスストップ前停留所の西側に駐輪場を整備する。

8 バスロケーションシステム等を活用した利便性の向上

令和7年1月から運行を開始した滝野コミュニティバスについて、バス情報フォーマット（GTFS-JP）による運行情報の整備を行い、経路検索を可能とする。

9 鉄道・高速バスによる広域へのアクセス性の向上

JRとの接続を重視し、公共交通機関を乗り継ぐことにより、広域な移動を可能とする滝野コミュニティバスの実証実験を令和7年1月より開始した。

10 タクシーの有効活用

令和6年1月から開始したデマンド型交通について、一部制度を変更し、実証実験を継続した。

実証実験の検証の結果、デマンド型交通と同じようにタクシーを活用した移動手段である福祉タクシー事業を一体的に見直し、令和7年度交付分から利用上限枚数の制限を緩和することとなった。

1.1 利用しやすい料金体系の構築

令和4年4月に導入した市内一律運賃制度に基づき、市内移動における路線バスの運賃（NicoPaカード利用時のみ）、加東市乗合タクシー、滝野コミュニティバスの運賃及び自主運行バス（実証実験中の社東条東自主運行バスを含む）の運賃を一律100円として実施している。

また、市役所において、NicoPaカードの販売を行い、市内一律運賃制度の利用促進に取り組んでいる。

【路線バス一律運賃制度補助金の状況】

	令和4年度 (R4.4～R4.9)	令和5年度 (R4.10～R5.9)	令和6年度 (R5.10～R6.9)
補助金の執行状況	5,503,660円	12,125,600円	15,387,550円

1 2 商業施設等と連携した取組

割引券の発行など、地域公共交通の利用促進とまちの活性化、にぎわいの創出に向けて、交通事業者や商業施設利用者等と協議を実施していく。

1 3 モビリティ・マネジメントの継続実施

公共交通ガイドブックを2回発行（4月、10月）し、4月版は、全戸に配布した。

令和7年度のガイドブックの発行については、4月版のみとする。

また、令和7年2月にシニアクラブ研修会において、加東市内の公共交通（NicoPaカードの購入方法や使用方法、加東市乗合タクシー、自家用有償旅客運送、滝野コミュニティバス、デマンド型交通）についての周知を実施した。

【加東市シニアクラブ研修会】



1 4 地域公共交通の維持に向けた体制の強化

路線バス運転手確保を図るため、滝野コミュニティバスの周知チラシに運転手募集の記事を掲載した。

また、自家用有償旅客運送を維持・継続するため、関係地域に運転手募集のチラシを配布し、運転手の確保に取り組んだ。